

令和3年度（2021年度）教育予算編成に向けての基本姿勢について（案）

教育予算の編成に当たっては、先に区長が定めた令和3年度中野区予算編成方針を踏まえ、教育委員会として自らの権限と責任において、主体的に行っていく必要がある。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の広がりによる日本経済の落ち込みが区財政にも大きな影響を与え、区の一般財源は令和2年度当初と比較して大幅な減収となる見込みである。

このような状況においても、教育委員会としては、教育の質を向上させるとともに、新たな教育課題に的確に対応していく必要がある。

よって、令和3年度教育予算の編成に当たっては、経常経費や既存事業の見直し等により財源を確保していくこととし、下記の基本方針に基づき、真に必要で優先度の高い事業を展開するために、より有効な実施方法等への見直しなどにより教育行政の一層の充実を図る。

記

【基本方針】

- 1 自身の可能性を伸ばし、自ら考え、学び、行動することのできる人材を育成するため、子どもたち一人ひとりの特性に応じたきめ細かな教育を推進するとともに、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」のバランスのとれた教育を展開する。
- 2 人格形成の基礎となる幼児期における教育の充実を図るととも

に、継続性を確保した教育により子どもたちが「よりよく生きる力」を確実に身に付けていくための保・幼・小・中連携教育を推進する。

3 家庭、地域、学校の連携により、社会全体で子どもたちの健康と安全を守り、健全に育成する取組を推進する。

4 子どもたちが安心・安全に学び、これからの新しい教育に対応できるように、中野区立小中学校再編計画（第2次）に基づく学校の再編、新校舎の改築・移転を進めるとともにその検証を行う。

今後の社会の変化や地域状況に対応できる学校施設の改築を計画的に行い、学校環境の一層の改善を進める。

5 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対策を引き続き実施するとともに、子どもたちの教育機会確保のための対応を充実する。

【予算編成において重点を置く項目】

1 新学習指導要領の目指す学力の定着と心身ともにすこやかな幼児・児童及び生徒の育成のための授業改善を進める。

そのためにGIGAスクール構想に基づくICT環境の構築等、これからの学びに対応した学校教育環境の整備を推進するとともに、各学校の支援を行う。

2 （仮称）総合子どもセンターの開設にともない、子ども・教育にかかる専門性の高い相談や切れ目のない支援を行うための仕組み等の見直し・調整を行う。

また、教育センター機能を充実し、教科教育・指導法の研究、いじめや不登校の予防や対応、障害や発達に課題のある幼児・児童・生徒を含めたすべての幼児・児童・生徒の育成に資する対応力や指導力の向上等教員の人材育成を図る。

「知の拠点」としての図書館機能を充実するとともに、生涯を通じての継続的な学びの場として魅力ある図書館づくりを推進する。